令和9年度特色選抜 ［入学者選抜における求める生徒像・選抜方法］

学校番号	学校名	課程	学科・コース	募集定員（特色＋一般）
53	沖縄県立中部商業高等学校	全日制	総合ビジネス科・情報ビジネス科・国際ビジネス科	240

求める生徒像・選抜において重視する観点

【求める生徒像（アドミッションポリシー）】

＜学科共通＞
・各学科の特色を理解し、目的意識を持って意欲的に学習することができる生徒
・実践的・体験的活動に積極的に参加し、資格取得に挑戦（チャレンジ）しようとする生徒
・身に付けた知識・技術を活かし、地域社会に貢献しようとする生徒

＜総合ビジネス科＞
・ビジネスの諸活動に興味と関心を持ち、他者と協働して課題解決に取り組むことができる生徒

＜情報ビジネス科＞
・パソコンに興味があり、特にマルチメディアのスキルを身につけたい生徒

＜国際ビジネス科＞
・国内外のビジネスに興味・関心を持ち、外国語習得に意欲的で、他者と積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる生徒。

【選抜において重視する観点】
＜学科共通＞
・各学科の分野に興味があり、本校における諸活動を通じて地域社会に貢献する意欲のある生徒

選抜項目・検査方法・配点

募集定員（特色選抜）	総合ビジネス科：48名　　情報ビジネス科：32名　　国際ビジネス科：16名

【各選抜項目における配点】　計　470　点

1. 学力検査　250 点
各教科50点満点×5教科＝250点満点

2. 調査書　190 点

ア. 教科の評定　**158点**
3学年の評定重視の観点より3学年の9教科の評価を1.5倍に換算して加算する。
ただし、少数第1位を四捨五入とする。

イ. 特別活動　**20点**
生徒会活動、ボランティア活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動を20点満点で加算する。
※校内外の活動を問わず2項目を加算対象とする（調査書の記載内容から判断する）

ウ. 部活動/資格取得等　**12点**
部長（キャプテン）、部活動の継続年数、県大会出場、九州（全国）大会出場、その他顕著な活動を12点満点で加算する。
※1項目でランクが高いものを加算対象とする。
※大会や資格取得等の実績や活動について好成績、高評価のもの2件申請できる。
なお、実績や活動を証明できる資料を提出すること。
※体育・スポーツ活動分野の団体競技については、登録選手であることを証明できる資料を提出すること。

3. 面接　30 点

ア. 面接方法　個人面接
イ. 面接委員の構成　1組2名
ウ. 所要時間　1人10分程度
エ. 面接内容　志望理由/特技や顕著な実績等/中学校での様子/卒業後の進路希望/その他
オ. 評価の観点　応答内容/態度・言葉遣い/服装容儀　等

備考等

「選抜項目・検査方法・配点　2. 調査書」における「イ.特別活動」「ウ.部活動」の配点については別紙で定める。

下記の※1、※2をともに満たすものを受検対象とする。

※1　3年間の評定平均が 3.0以上　評定平均＝（1～3年までの全体科目の評定合計）÷27（小数第2位を四捨五入）

※2　各学年において無届欠席が10日以内

令和９年度特色選抜［入学者選抜における求める生徒像・選抜方法］

学校番号	学校名	課程	学科・コース	募集定員（特色＋一般）
53	沖縄県立中部商業高等学校	全日制	生涯スポーツ科	40

求める生徒像・選抜において重視する観点

【求める生徒像（アドミッションポリシー）】

＜学科共通＞
・各学科の特色を理解し、目的意識を持って意欲的に学習することができる生徒
・実践的・体験的活動に積極的に参加し、資格取得に挑戦（チャレンジ）しようとする生徒
・身に付けた知識・技術を活かし、地域社会に貢献しようとする生徒

＜生涯スポーツ科＞
○生涯スポーツ科の専攻種目を理解し、スポーツに対する探究心とリーダーシップを持ち、学業及び部活動に打ち込める生徒

【選抜において重視する観点】

○生涯スポーツ科の専攻種目を理解し、スポーツに対する探究心とリーダーシップを持ち、学業及び部活動に打ち込める生徒

選抜項目・検査方法・配点

募集定員（特色選抜）	20 名（募集定員の50%）

【各選抜項目における配点】 計 750 点

1. 学力検査 250 点
各教科50点満点×5（教科）＝250点満点

2. 調査書 270 点

ア 教科の評定 **135点**
イ 特別活動 **65点**
生徒会活動、ボランティア活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動を65点満点で加算する。
※校内外の活動1項目を加算対象とする（調査書の記載内容から判断する）
ウ 体育スポーツ系・部活動 **70点**
部長、県大会出場、九州（全国）大会出場、その他顕著な活動1項目を70点満点で加算する。
※専攻種目で、個人、団体種目における出場選手を対象とする。
※専攻種目の実績ランクの高い1項目を加算対象とする。
※大会等の実績や活動について好成績、高評価のものを2件申請できる。
なお、実績や活動を証明できる資料を提出すること。
※体育・スポーツ活動分野の団体競技については、登録選手であることを証明できる資料を提出すること。

3. 実技検査・面接 230 点

［実技検査］ **200点**
ア 共通実技 メディシンボール投げ/シャトルラン/立ち幅跳び 3種目から2種目選択 **100点満点**
イ 専門実技 1種目 （硬式野球・女子バレーボール・陸上競技・女子バスケットボール） **100点満点**
ウ 評価の観点 瞬発力、心肺機能、筋持久力等の基礎体力および専攻種目の技術力

［面接］ **30点**
ア 面接方法 個人面接
イ 面接委員の構成 1組2名
ウ 所要時間 1人5分程度
エ 面接内容 志望理由/高校での活動意欲/中学校での活動状況/卒業後の進路イメージ/その他
オ 評価の観点 応答内容/態度・言葉遣い/身だしなみ 等

上記1から3を基に、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し、選抜する

備考等

1. 選抜項目・検査方法・配点 2調査書における「イ特別活動」、「ウ部活動」の配点については、別紙で定める

2. 専門実技の内容および配点については、別紙で定める。万が一怪我等により実技検査が受けれない者は、中学時における新体力テストにおける同項目の記録及び専攻種目への取り組みについて、面接時の聞き取り内容を参考とする。

特色選抜　判定基準

１．出願資格

中学校または、これに準ずる学校、義務教育学校に後期課程又は中等教育学校の前期課程(以下、「中学校等」という)を募集年度の３月に卒業又は修了(以下「卒業」という)見込みの者のうち、次の(１)及び(２)に該当するもの

(１)　沖縄県内の中学校等に籍をおく者

(２)　本校の「求める生徒像」及び「選抜において重視する観点」を理解し、特色選抜出願要件等を満たす者

２．出願要件

(１)　総合ビジネス科・情報ビジネス科・国際ビジネス科の３学科（以下「商業系３学科」という）

ア　３年間の評定平均が３．０以上の者

評定平均＝（１～３年までの全体科目の評定合計）÷２７科目(小数第２位を四捨五入)

イ　各学年で、正当な理由のない欠席(無届欠席)が１０日以内の者

(２)　生涯スポーツ科は、出願要件を定めない

３．選抜項目

(１)　学力検査

ア　商業系３学科・生涯スポーツ科ともに、各教科５０点満点×５教科の２５０点満点とする。

(２)　調査書

ア 教科の評定

(ア) 商業系３学科は、３学年の評定を重視する観点より３学年の９教科の評定を１．５倍に換算し、１，２年の評定合計に加算して、１５８点満点とする。ただし、小数第１位を四捨五入する。

教科評定＝(１～２年までの全体科目の評定合計)＋(３学年の全体科目の評定合計×１．５)

(イ) 生涯スポーツ科は、１３５点満点とする。

イ　特別活動

生徒会活動、ボランティア活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動を調査書の記載内容から判断する。

(ア) 商業系３学科は、校内外の活動を問わず２項目を加算対象とし、２０点満点とする。

(イ) 生涯スポーツ科は、校内外の活動を問わず１項目を加算対象とし、６５点満点とする。

ウ　部活動・資格取得等

部長（キャプテン）、部活動（部外活動も含む）、県大会出場、九州（全国）大会出場、その他顕著な活動を１項目でランクが高いものを加算対象とする。ただし、大会・資格等の結果については、賞状など証明するものが必要となる。

(ア) 商業系３学科は、１２点満点とする。

(イ) 生涯スポーツ科は、７０点満点とする。

(３)　面接

応答内容、態度・言葉遣い、身だしなみ等を総合的に判断する。

ア　商業系３学科、生涯スポーツ科ともに、３０点満点とする。

(４)　実技検査（生涯スポーツ科のみ実施）

ア　共通実技（立ち幅跳び・メディシンボール投・20ｍシャトルランの３種目）

３種目から２種目選択で１００点満点とする。

イ　専門実技（野球、陸上競技、バレーボール、バスケットボールの専攻競技４種目）

専攻４種目から１種目選択し１００点満点とする。

一般選抜・第２次募集　判定基準

Ⅰ．出願資格

（Ⅰ）　一般選抜

ア　中学校等を募集年度の３月に卒業見込みの者

イ　中学校等を卒業したもの者（以下「過年度卒業者」という）

ウ　学校教育法施行規則第 95 条各号のいずれかに該当する者

（２）　第２次募集

合格者が募集定員に満たない学科において、第２次募集を行うものとする。出願できる者は、学力検査を受検し、県立高等学校に合格しなかった者とする。ただし、当該年度に学力検査を受検した本校の同一学科に出願することはできない。

２．募集定員

（Ⅰ）　一般選抜定員　＝　募集定員　－　特色選抜合格者数

（２）　第２次募集定員　＝　募集定員　－　特色選抜合格者数　－　一般選抜合格者数

３．選抜方法

受検者の内申点と学力検査点を基にして総合点の算出や相関図を作成し、総合成績上位の者から下記の(Ⅰ)から(4)の方法によって合否を判定する。ただし、判定にあたっては、各学科の特色に応じ、教育的配慮の基に行うものとする。

（Ⅰ）　出身中学校等の校長から提出された調査書（第４号様式）、学力検査等の成績、面接の結果及び実技検査の結果(生涯スポーツ科のみ)を基にして選抜を行う。

（２）　選抜は、調査書（第４号様式）及び学力検査等の成績を資料として行い、調査書と学力検査等の成績の比重は、５対５とする。

（３）　各圏の設定の仕方

Ａ圏 内申点、学力検査点に基づいて募集人員（特色選抜合格者を除く、以下同じ）の８０%程度の人数が含まれるように範囲を設定してＡ圏とする。

Ｂ圏 募集人員のＩＩ０%程度が含まれるように範囲を設定し、それからＡ圏を除いた者をＢ圏とする。

Ｃ圏 Ａ圏とＢ圏を除いた残りをＣ圏とする。

（４）　審議の手順

ア　志願倍率の高い学科から審議する。

イ　Ａ圏の中で下記の条件Ⅰのいずれかに該当する者以外は合格とする。ただし、第二志望の者は、Ｂ圏として扱う。

ウ　Ｃ圏の中で条件２のいずれかに該当する者以外は不合格とする。

エ　Ｂ圏の者にイ、ウで保留になった者を含めて条件２のいずれかにより総合的に判断し、合格者を決定する。

－条件Ⅰ－

(a) ３か年間の行動の記録に〇がない者

(b) ３ヵ年間の欠席が５０日を超える者

(c) 第３学年に評定Ⅰのある者

(d) 学力検査点で０点の科目がある者

(e) 面接の評価にＣがある者

(f) 生涯スポーツ科の実技検査で評価にＢ、Ｃのある者

－条件２－

(a) 観点別学習状況が著しく良い者

(b) 学力検査点が著しく高い者

(c) 内申点が著しく高い者

(d) 行動等の記録が著しく良い者

(e) 生涯スポーツ科の実技検査で評価に特Ａ・Ａのある者